

# ODA

ピアノット・イルカ

つうかん  
ODA通巻 : 1788



発行 社会福祉法人  
沖縄県身体障害者福祉協会  
編集人 NPO 法人沖縄県自立生活センター・イルカ  
住所 〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-4-1 (1F)  
単価 100円 (会費に含) TEL 098-890-4890  
FAX 098-897-1877

## もくじ

- 2 ページ..... バリアフリー<sup>りかいふか</sup>理解深めて
- 3 ページ..... <sup>れいこ</sup>鈴子<sup>きじ</sup>さんの記事
- 4 ページ..... <sup>いのち</sup>命<sup>せんべつ</sup>の選別しないで

## りかいふか バリアフリー理解深めて

「バリアフリーを楽しく伝えたい」。県自立生活センター・イルカの山家鯨さん(29)とおおしろりょう(27)は、バリアフリーの大切さを伝えようと特撮映像を使った動画を製作している。



物語の主人公はバリアフリー研究所で働く車いすのヒーロー“いさなマン”こと山家さん。ある日、玄関先に設置された車いす用スロープに「何だこれ、邪魔だな」とつぶやく敵役が登場する。スロープの必要性やバリアフリーへの理解を広めようと戦いを繰り返す。

昔から特撮ヒーローが好きだったという山家さん。「車いすのヒーローが登場する動画を撮ってみたかった。車いすでも、いろいろなことができる」と勇気が伝わればうれしい」と話した。

動画に登場するのはイルカのメンバーら。コロナ禍で事業所を閉めることもあり、完成までにおよそ8カ月を費やした。動画制作を担当する大城さんは、戦う場

面の火花やビーム、効果音を付ける技術を一から学んだ。「衣装も手作りし、シナリオ作成段階から議論を重ねた。バリアフリーについて、目で見える楽しさを通じ伝えたい」と笑顔で話した。

今後新しい動画作りに取り組む。



悪い心から良い心になれ  
スロープをつ

ひとごと  
イサナマンの一言



皆さんこんにちは、今回イサナマンの動画制作で、脚本、演出、監督、主演を務めました。山家鯨です。

動画を作っていく中で不安もいっぱいありました。事務所のみんなでわいわい色々考えながら構成からキャスティングまで試行錯誤しながら作っていきました。コロナでこの動画が完成できるかも不安でしたが、絶対に完成させて皆さんの前で上映したいという思いが強くなりました。

ですのでこの動画をみんなで完成できたこと本当にありがたく思っています。皆さん本当にありがとうございました。



ビーエイアイほうじんけん じりつせいかつ

NPO法人県自立生活センター・イルカの初代理事長である故新門登さんの後を  
つ だいひょう つと せんてんせいた はつせいかんせつこうしゅくしゅう

継ぎ、代表を務める。「先天性多発性関節拘縮症」による四肢体幹機能障害のため、

くるま せいかつ おく がくせい ころ しゅう  
車いす生活を送ってきた。学生の頃は「周

い しょう ひと なに  
囲は『障がいがある人は何もできない

ひと おも じだい て しよく  
人』と思っていた」時代。手に職をと、

し かくしゅとく か ごしまけん しょうがいしよくぎょうく  
資格取得のため鹿児島県の障害職業訓

れんこう い  
練校に行った。

しんもん ぎ のわんし た あ しょう  
新門さんが宜野湾市で立ち上げ障がい

しや じりつ しえんだんたい かい ねん  
者の自立支援団体「テベの会」に1995年

からボランティアで関わった。「自分ら

い かい  
しく生きていいんだよ」という会のスロ

ーガンを見て、「今まではずっと『健常

しや おも  
者』にならなければと思っていた。こん

な自分でいいんだ」と涙がこぼれた。

しんもん いっしょ かつどう かん  
新門さんと一緒に活動して感じたのは

しょう うむ だれ びょう  
「障がいの有無にかかわらず、誰もが平

どう い かい じつげん  
等に生きられる社会」の実現だ。

じしん せいてい かつどう と く  
自身も制定のための活動に取り組んだ

けんしょう しゃじょうれい かくきょういく い いん  
県障がい者条例はできたが「各教育委員

かい けんじょうしゃ しょう しゃ わ ぶんり  
会は（健常者と障がい者を分ける）分離

きょういく いま ぜんてい してき がっこう しょう しゃ わ おとな  
教育が今も前提だ」と指摘。「学校では障がい者を分けておきながら、大人になっ

びょうどう い かんたん うった しょう しゃ まな ほしょう  
たら平等と言われても簡単にできるわけがない」と訴え、障がい者の学びの保障を

もと  
求める。

しょう も ひと がくれい き じぶん しょうらい かんが き かい とうぜん  
「障がいを持っている人も、学齢期から自分の将来を考える機会があって当然。

かんきょう しゃかい せきにな  
その環境をつくるのが社会の責任だ」



## いのち せんべつ 「命の選別しないで」

じりつせいかつ ようぼう  
自立生活センター コロナで要望

けん じりつせいかつ けんせいしん ほ けんふく し かいれんごうかい にち きしゃかいけん しょう  
県自立生活センター・イルカと県精神保健福祉会連合会は30日、オンラインで記者会見し、障  
がいを理由に命の選別をしないよう求める緊急要望を、知事と県議会議長宛てに発送したと発  
表した。県内での新型コロナウイルスの感染拡大による医療逼迫を受け、県の専門家会議が患者  
の治療の優先順位を判断する「トリアージ」の指針を議論する方針が決まったことを受けた要望。

せいしん か びょういん しょう しゃ し せつ こうれいしゃ し せつ  
精神科病院や障がい者施設、高齢者施設で  
はっせい かんせんしゃしゅうだん かん  
発生したクラスター（感染者集団）に関する  
すみ げんいんきゆうめい こうひょう てきせつ たいおう  
速やかな原因究明・公表と適切な対応のほか、  
かんせんたいさく せつしゅ かん こう  
コロナ感染対策やワクチン接種に関する公  
てき じょうほう しょう しゃ わ ほんしん  
的な情報を、障がい者らに分かりやすく発信  
するなど11項目を求めている。

なが いれい こだいひょう し ない ろう  
イルカの長井鈴子代表はうるま市内の老  
ねんせいしん か びょういん だい き ぼ はっせい  
年精神科病院で大規模クラスターが発生し、  
にん し ぼうしや で じれい なに お  
69人の死亡者が出た事例に「何が起きている  
じょうほう し せつない じゅうじょう か ぼ あい かん  
か情報がない。施設内で重症化した場合は感  
せんしゅうせんもん き かん すみ てんいん てき  
染症専門機関へ速やかに転院させるなど、適  
せつ たいおう と いのち せんべつ お  
切な対応が取られていたのか。命の選別が起  
こってしまっているのではないかと指摘。  
けん てきせつ たいおう もと  
県に適切な対応を求めた。

けん て いくせいがい た なかひろしかいちょう ち てきしょう しゃ ほ ごしゃ せつしゅ こう か  
県手をつなぐ育成会の田中寛会長は、知的障がい者やその保護者に、ワクチン接種の効果な  
どについて分かりやすく伝えるパンフレットが必要だと指摘。県や市などが作成し、啓発に努め  
るべきだとした。

ねん がつ にちおきなわ  
2021年8月31日沖縄タイムス

